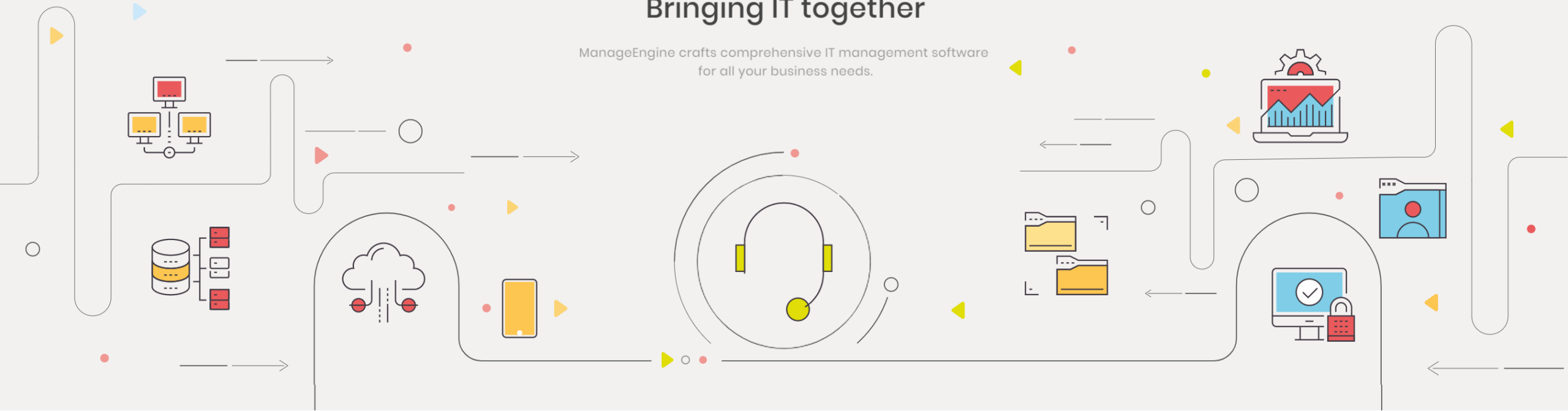


## Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software  
for all your business needs.



ManageEngine OpManager Plus

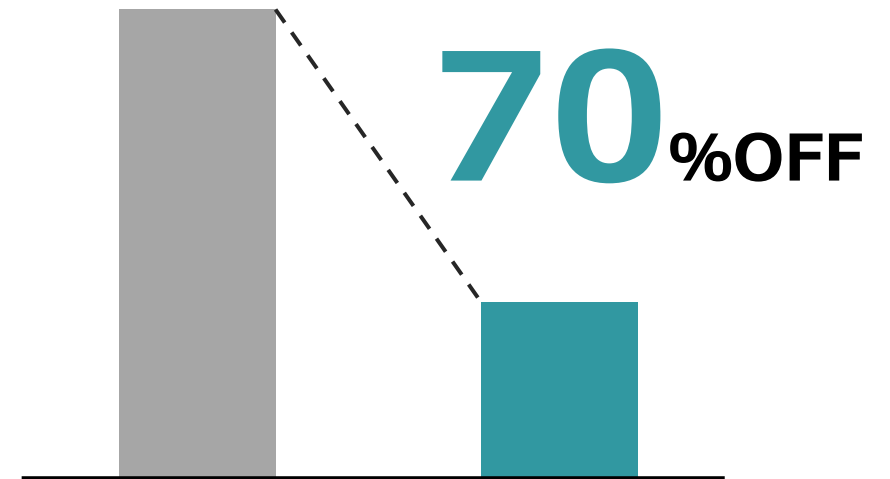
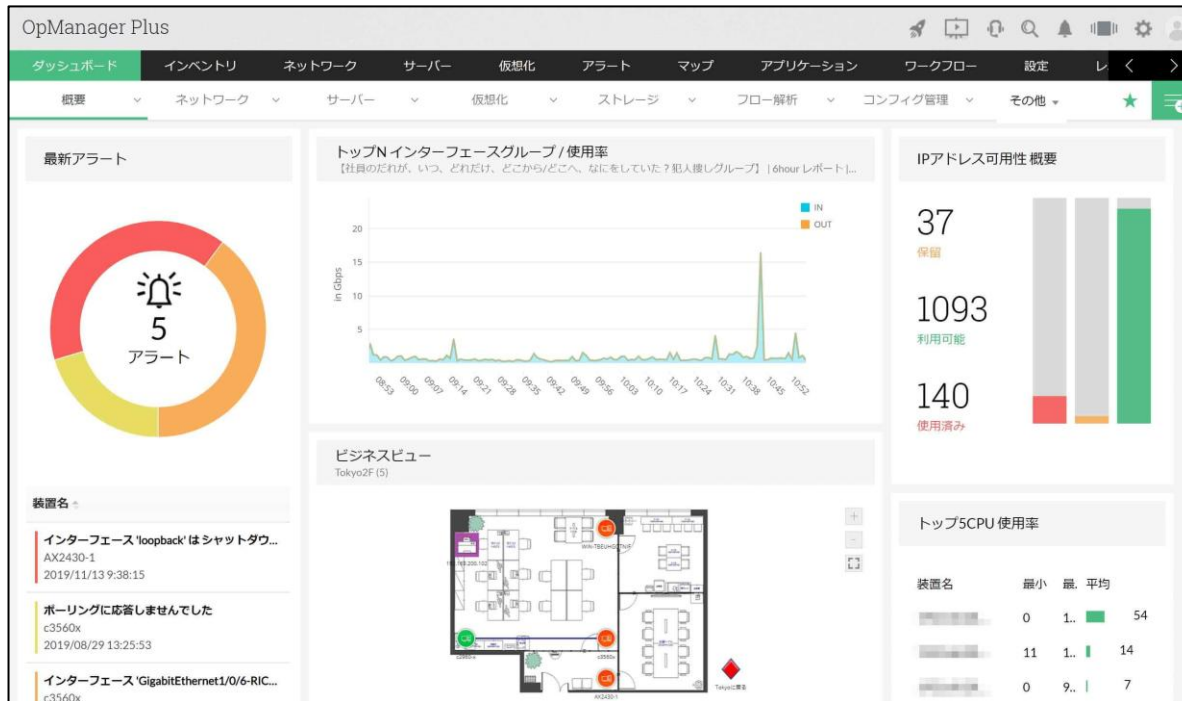
# ライセンスのご案内

ゾーホージャパン株式会社

# OpManager Plusのライセンスについて

2022年6月29日より、ManageEngine OpManager Plusのライセンス価格およびライセンス体系が変更となりました。

OpManagerでオプション機能を購入する場合と比較してライセンス費用を**最大70%低減**します。



# ManageEngine OpManager Plusとは

IT運用管理ツール製品群である「**ManageEngine**」のうち、**ITオペレーションマネジメント**（ITOM：IT Operation Management）に関する5製品を統合したものが「**OpManager Plus**」です。

**OpManager Plus**にはManageEngineの以下の5製品が統合されています。

- **OpManager**
- **Network Configuration Manager**
- **NetFlow Analyzer**
- **Firewall Analyzer**
- **Applications Manager**



**OpManager Plusは、5製品の機能を年間52万円～で提供します。**

# OpManager Plusのライセンス体系

ライセンス体系は以下の3種類です。

管理ユーザー数とファイアウォールはいずれのライセンスにもデフォルトで付属します。ユーザーとファイアウォールを追加する場合はオプションをご購入ください。

	50ライセンス	100ライセンス	250ライセンス
<b>デバイス数</b> (ネットワーク・コンフィグ・フロー・サーバー・アプリケーション等)	<b>50</b> デバイス	<b>100</b> デバイス	<b>250</b> デバイス
管理ユーザー数	<b>2</b> ユーザー		<b>3</b> ユーザー
ファイアウォール数	<b>1</b> ファイアウォール		<b>2</b> ファイアウォール

デバイス数をNW機器やアプリ等に自由に割り振り、監視数をカスタマイズ可能

# デバイス数の割り振り

ライセンスのデバイス数を以下の**3つのバンドル**に割り振ることにより監視をカスタマイズできます。

それぞれのバンドルに含まれる監視内容は以下の通りです。

ネットワークバンドル	サーバー・アプリケーションバンドル	ストレージバンドル
スイッチ・ルーター・インターフェース・IPアドレス等の監視	サーバー・アプリケーション・Webサイト・サービス等の監視	ストレージデバイスの監視
ネットワークパフォーマンス監視	サーバー監視	ディスク監視
帯域・トラフィック解析	ミドルウェア・アプリケーション監視	FCスイッチ監視
アクセスポイント監視	外形監視	テープライブラリ監視
IPアドレス管理	Webサービスパフォーマンス監視	
スイッチポート管理		

各バンドルへの割り振りは環境に合わせて自由にカスタマイズ可能

## 例：デバイス数の割り振り

### 100 デバイスライセンスを購入し、ネットワーク機器とサーバー・ストレージの監視を実施する場合

ご購入いただいたライセンスのデバイス数を、各バンドルに自由に割り振ることができます。  
利用しないバンドルがある場合、バンドルに割り振るデバイス数を0にすることも可能です。

	ネットワークバンドル	サーバー・アプリケーションバンドル	ストレージバンドル
例1	50 デバイス分利用	20 デバイス分利用	30 デバイス分利用
例2	30 デバイス分利用	70 デバイス分利用	0 デバイス分利用
例3	100 デバイス分利用	0 デバイス分利用	0 デバイス分利用

各バンドルへの割り振りは環境に合わせて自由にカスタマイズ可能

# ネットワークバンドル

ネットワークバンドルは、スイッチ・ルーター・インターフェース等の監視とトラフィック解析、およびコンフィグ・IPアドレス・スイッチポート管理などを含むネットワーク全般の監視に対応するバンドルです。

ネットワークバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

バンドルの デバイス数	NW機器監視 コンフィグ管理	フロー解析	アクセスポイント 監視	IPアドレス 管理	スイッチポート 管理
<b>n</b> デバイス	<b>n</b>	<b>n</b>	<b>n×2</b>	<b>n×10</b>	<b>n×10</b>

- ※ ネットワークバンドルで監視するネットワーク機器監視でコンフィグ管理機能も利用できます。  
1つのデバイスに対して機器の監視とコンフィグ管理の両方を行っても、消費するライセンスは1デバイス分となります。
- ※ ネットワークバンドル内の「アクセスポイント監視」は、OpManagerの「[アクセスポイントオプション](#)」に相当する機能です。[NetFlow AnalyzerのWLC監視](#)はフローインターフェースにカウントされ、アクセスポイント1台に対して1インターフェース分のライセンスを消費します。
- ※ ネットワークバンドルでサーバーの監視をすることもできます。

## 例：ネットワークバンドルにおけるデバイス数の割り振りと各機能の追加数の上限

ネットワークバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決まります。

	バンドルの デバイス数	NW機器監視 コンフィグ管理	フロー解析	アクセスポイント 監視	IPアドレス管理	スイッチポート 管理
	デバイス数n	n	n	2n	10n	10n
例1	<b>50</b> デバイス	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>100</b>	<b>500</b>	<b>500</b>
例2	<b>30</b> デバイス	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>60</b>	<b>300</b>	<b>300</b>
例3	<b>100</b> デバイス	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>200</b>	<b>1000</b>	<b>1000</b>

## サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドル (SAM: Server and Applications Management)

サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドルは、サーバー・アプリケーション・Webサイト・サービス等の監視に対応するバンドルです。

SAMバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

バンドルのデバイス数	サーバー監視	アプリケーション監視	インターネットサービス監視
<b>n</b> デバイス	<b>n</b>	<b>n</b>	<b>n</b>

※ インターネットサービスには、WebページのURL監視やクラウドサービスの監視等が含まれます。

※ SAMバンドルの利用には、APMプラグインのインストールが必要です。

※ 一部のアプリケーション監視機能のご利用にはオプションの購入が必要です。オプション一覧をご確認ください。

# ストレージバンドル

ストレージバンドルは、ストレージデバイス監視に対応するバンドルです。

ストレージバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

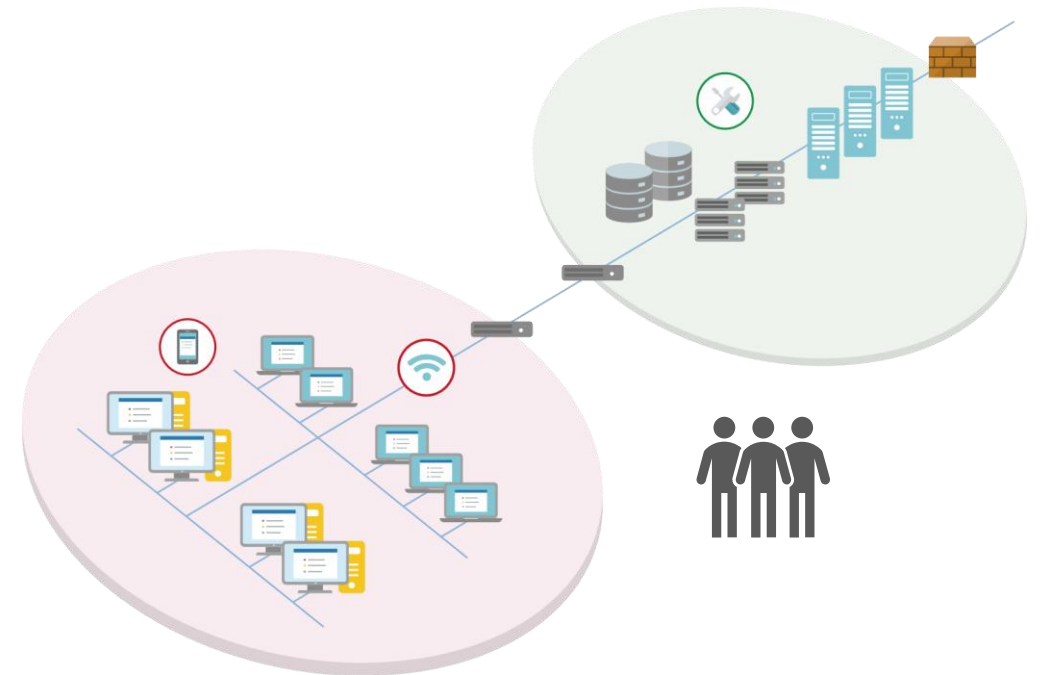
バンドルのデバイス数	ストレージデバイス監視
<b>n</b> デバイス	<b>n</b>

※ ストレージディスク・FCスイッチ・テープライブラリ等を追加するごとに1デバイスを消費します。

# 例：利用ライセンスの算出方法

次のネットワーク構成をOpManager Plusで監視するとします。

スイッチ	<b>30</b> (720ポート・パフォーマンス監視とコンフィグ管理を実施)
ルーター	<b>3</b> (フロー監視をin/outで実施)
アクセスポイント	<b>6</b>
IPアドレス	<b>800</b>
プリンター	<b>4</b>
サーバー	<b>150</b>
アプリケーション	<b>60</b>
ファイアウォール	<b>1</b>
ストレージ	<b>10</b>
OpManager Plus 管理ユーザー	<b>3</b>




## 例：利用ライセンスの算出方法（続）

次のネットワーク構成をOpManager Plusで監視するとします。

スイッチ	30 (720ポート・パフォーマンス監視とコンフィグ管理)	ネットワークバンドル
ルーター	3 (フロー監視をin/outで実施)	
アクセスポイント	6	
IPアドレス	800	
プリンター	4	
サーバー	150	SAMバンドル
アプリケーション	60	
ストレージ	10	ストレージバンドル
ファイアウォール	1	本体ライセンスに含まれる
OpManager Plus 管理ユーザー	3	本体ライセンスに含まれる

## 例：利用ライセンスの算出方法（続）

監視対象装置の数からネットワーク（NW）バンドルへ割り当てるデバイス数を計算する方法は次の通りです。

	NW機器監視 コンフィグ管理	フロー解析	アクセスポイント 監視	IPアドレス 管理 	スイッチポート 管理
NWバンドルの デバイス数	<b>n</b>	<b>n</b>	<b>2n</b>	<b>10n</b>	<b>10n</b>
ネットワーク内の 監視対象要素数	<b>37</b> *1	<b>6</b> *2	<b>6</b>	<b>800</b>	<b>720</b>
NWバンドルへの割当	<b>37</b>	<b>6</b>	<b>3</b> $6 \div 2 = 3$	<b>80</b> $800 \div 10 = 80$	<b>72</b> $720 \div 10 = 72$

➡ ネットワークバンドルへ割り当てるデバイス数は **80** です。

※1：スイッチ30台＋ルーター3台＋プリンター4台＝37台

※2：ルーター3台×in/out＝6インターフェース

バンドル内で最もデバイスを消費している監視機能を「**プライマリーコンポーネント**」と呼びます。プライマリーコンポーネントのデバイス数が、そのバンドルで必要なデバイス数となります。

## 例：利用ライセンスの算出方法（続）

監視対象装置の数からSAM・ストレージバンドルへ割り当てるデバイス数を計算する方法は次の通りです。

	サーバー監視 	アプリケーション監視	インターネットサービス監視
SAMバンドルのデバイス数	<b>n</b>	<b>n</b>	<b>n</b>
ネットワーク内の監視対象要素数	<b>150</b>	<b>60</b>	<b>0</b>
SAMバンドルへの割当	<b>150</b>	<b>60</b>	<b>0</b>

	ストレージデバイス監視
ストレージバンドルのデバイス数	<b>n</b>
ネットワーク内の監視対象要素数	<b>10</b>
ストレージバンドルへの割当	<b>10</b>

▶ SAMバンドルへ割り当てるデバイス数は **150**、  
 ストレージバンドルへ割り当てるデバイス数は **10** です。

## 例：利用ライセンスの算出方法（続）

各バンドルへ割り当てるデバイス数を合計した数値以上のOpManager Plusライセンスをご購入ください。

ネットワークバンドル **80** + SAMバンドル **150** + ストレージバンドル **10**



デバイス数の合計が240となりますので、今回のケースでは

**OpManager Plus 250** ライセンスをご購入ください

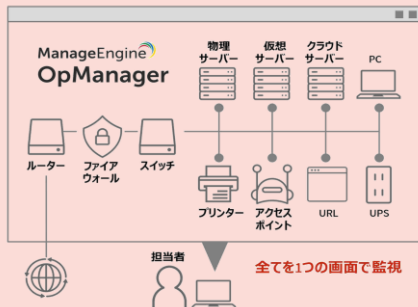
※ [詳しい価格表は弊社Webサイトをご参照ください。](#)

※ バンドル内に含まれる監視機能の他にオプション機能もございます。オプション一覧ページおよび弊社Webページをご覧ください。

# 付録：ManageEngine IT運用管理（ITOM）製品一覧

## OpManager

マルチベンダー対応のネットワーク監視ツール。  
ネットワーク管理部門・ネットワーク管理者が  
監視業務で網羅すべき様々な機能を提供



**OpUtils** IPアドレスおよびスイッチポート管理を実現

## ストレージ監視オプション

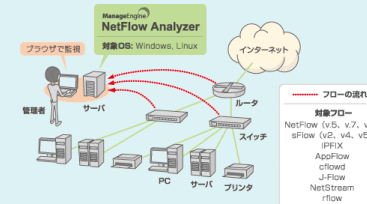
ディスクの読み取り/書き込みの統計、使用率の監視、ストレージ増加予測グラフ等を提供

## ユーザーオプション

各製品における機能の操作権限や情報の閲覧権限、個々のID/PWを割り振った管理ユーザーの追加作成上限数を緩和

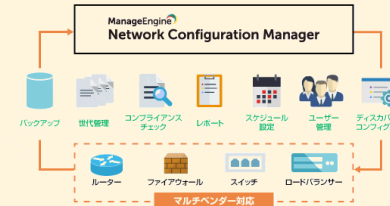
## NetFlow Analyzer

X-Flowを用いたネットワークトラフィック分析ツール。  
「だれが、いつ、どのくらい、どんな通信を、どこに向けて、発生させているか」を可視化



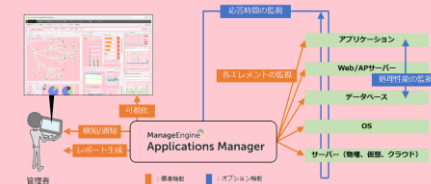
## Network Configuration Manager

ネットワーク機器のコンフィグ管理ツール。  
世代管理&ロールバック、スケジュール更新、自動バックアップ、コンプライアンスチェック等を実現



## Applications Manager

アプリケーションパフォーマンス管理ツール。  
物理・仮想サーバー監視Webシステムの遅延の原因を特定



## Firewall Analyzer

マルチベンダーファイアウォール・プロキシログ監視、ポリシー管理ツール。



# 付録：ManageEngine ITOM製品とOpManager Plusバンドルの関係性

## OpManager

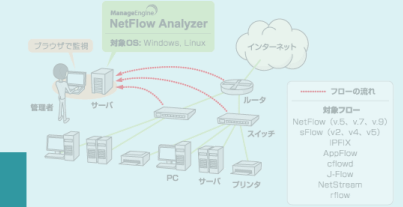
マルチベンダー対応のネットワーク管理ツール。  
ネットワーク管理部門・ネットワーク管理者が  
監視業務で網羅すべき様々な機能を提供



OpUtils IPアドレスおよびスイッチポート管理を実現

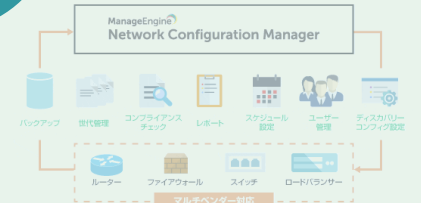
## NetFlow Analyzer

X-Flowを用いたネットワークトラフィック分析ツール。  
「だが、いつ、どのくらい、どんな通信を、どこに向けて、発生しているか」を可視化



## Network Configuration Manager

ネットワーク機器のコンフィグ管理ツール。  
世代管理&ロールバック、スケジュール更新、自動バックアップ、コンプライアンスチェック等を実現



## ストレージ監視オプション

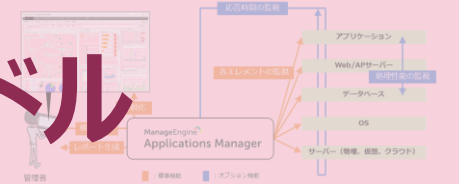
ディスク読み取り/書き込みの統計、使用率の監視、ストレージ増設予測グラフ等を提供

## ユーザーオプション

各製品における機能の操作権限の細かい設定が可能。  
個々のID/PWを割り振った管理ユーザーの追加作成上限数を緩和

## Applications Manager

アプリケーションパフォーマンス管理ツール。  
物理・仮想サーバー監視Webシステムの遅延の原因を特定



## Firewall Analyzer

マルチベンダーファイアウォール・プロキシログ監視、ポリシー管理ツール。



# OpManager Plusについて

## 1 監視の一元化

ネットワーク・サーバー・ストレージ・アプリケーション等  
幅広い監視を1つのソフトウェア上で提供

## 2 環境に合わせて柔軟にカスタマイズ

バンドル・コンポーネントの組み合わせで様々な環  
境・用途に対応

## 3 IT運用管理のコスト削減

ManageEngine製品の利用しやすさはそのままに、  
各製品を単体で購入するよりも最大70%コスト削減



## 製品提供元

ゾーホージャパン株式会社



神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号  
みなとみらいセンタービル13階

045-319-4612 (ManageEngine 営業担当)

<https://www.manageengine.jp/>

[jp-mesales@zohocorp.com](mailto:jp-mesales@zohocorp.com)



## OpManager Plus Webサイト

製品サイト

<https://www.manageengine.jp/products/OpManager/Plus.html>

製品デモ

<https://demo.opmanagerplus.com/>

まずはデモサイトで、わかりやすい画面と操作感をご確認ください